

桂・ニュース

KATSURA
NEWS

基本理念

私たちは、患者さんの人権を尊重し、地域に必要な
基幹的中心的な医療を担当すると共に、さらに高次
の医療に対応できるよう努力します。

社会福祉法人 京都社会事業財団 京都桂病院

9月号
NO. 210
2013・9・1
毎月1回・1日発行
〒615-8256 京都市
西京区山田平尾町17
TEL075-391-5811(代)
編集：広報課
印刷：(有)アクト

京都桂病院ホームページ
<http://www.katsura.com>

ペインクリニック科 ご紹介



ペインクリニック科
部長

戸田 寛



ペインクリニック科では、さまざまな原因で生じてくる痛みを軽減させるための診療を行います。疼痛外来と呼ばれることもあります。対象となる痛みは、帯状疱疹痛（帯状疱疹後神経痛を含む）、顔面痛（三叉神経痛・非定型顔面痛）、頸肩腕痛、腰下肢痛、心因性疼痛、など多岐にわたります。痛みは、身体が発する危険のサインととらえることができますが、急性期を過ぎても慢性的に残存した痛み、器質的疾患がないにもかかわらず難治性の痛みが存在する場合、痛みの原因が特定できていてもその原因を取り除くことができない場合、などに痛み治療に特化した対応を行ってまいります。治療法は状況によって異なりますが、最初は出来るだけ痛みを伴わないレーザー治療、薬物療法などから開始して、症状により必要な場合にだけ注射で痛みの原因となっている神経を一時的に休ませたり、血流を改善させるために神経ブロックを行います。痛みには様々な性質があります。また、いろいろな状況によって変化し

たりもします。ご自分の痛みがどのような感じ方なのか、一日の中での変化はどうか、何をすれば楽になり（例えば、お風呂に入ると楽になる）、何をすればつらいか（例えば、長時間同じ姿勢でいるとつらい）、などを細かくお教えてください。痛みを定量化することはたいへん難しく、それを完全に無くすることができるものばかりではないと思います。ただ、「痛みとの付き合い方」によっては今より日々の生活が楽しくなる方法を考えることもできます。担当医1名の体制で診療を開始するなど諸般の事情により、診療は外来診療のみとなります。痛みの治療は患者さんの感覚に関わる部分での治療ですからその治療方法や経過には個人差があります。薬の使い方も微妙な調整が必要です。患者さんやご家族、かかりつけ医の先生がたとも十分に相談しながら少しでも満足していただける個人にあった診療を行いたいと思っています。どうぞよろしくお願ひいたします。

京都桂病院 土曜コンサート

今回は、林 琢也さんによるピアノの弾き語りでお楽しみいただけます。
入院されている患者さんだけでなく、外来へ通院中の方・在宅で療養されている方・そして地域の皆様もぜひご鑑賞ください。

お楽しみに!

日時：9月21日(土) 午後2時～3時
会場：外来棟1階ロビーにて
曲目：◆ 月の光 / ドビュッシー
◆ 子犬のワルツ / ショパン
◆ どうぶつさんメドレー ほか